

3. 信濃川水系長野圏域河川整備計画

法定計画である信濃川水系長野圏域河川整備計画（平成 31 年 4 月改定）では、次のとおり河川の整備の実施に関する事項を記載している。

(1) 河川整備の目標に関する事項

1) 外水対策

[浅川]

沿川の人口や資産の集積状況、流域内の土地利用の状況、災害発生時の社会的影響、他河川の改修規模とのバランスを考慮し、100 年に 1 回程度の確率で発生すると予想される降雨により生ずる洪水（千曲川合流点で 1 秒間につき 450 立方メートル）を安全に流下させることのできる治水安全度を確保し、家屋等への浸水被害を防止することを目標とする。

[三念沢]

沿川の人口や資産の集積状況、流域内の土地利用の状況、災害発生時の社会的影響、他河川の改修規模とのバランスを考慮し、100 年に 1 回程度の確率で発生すると予想される降雨により生ずる洪水（浅川合流点で 1 秒間につき 50 立方メートル）を安全に流下させることのできる治水安全度を確保し、家屋等への浸水被害を防止することを目標とする。

[駒沢川]

沿川の人口や資産の集積状況、流域内の土地利用の状況、災害発生時の社会的影響、他河川の改修規模とのバランスを考慮し、100 年に 1 回程度の確率で発生すると予想される降雨により生ずる洪水（浅川合流点で 1 秒間につき 90 立方メートル）を安全に流下させることのできる治水安全度を確保し、家屋等への浸水被害を防止することを目標とする。

[新田川]

沿川の人口や資産の集積状況、流域内の土地利用の状況、災害発生時の社会的影響、他河川の改修規模とのバランスを考慮し、100 年に 1 回程度の確率で発生すると予想される降雨により生ずる洪水（浅川合流点で 1 秒間につき 45 立方メートル）を安全に流下させることのできる治水安全度を確保し、家屋等への浸水被害を防止することを目標とする。

2) 内水対策

[浅川]

浅川流域での既往最大被害となった昭和 58 年 9 月台風第 10 号と同規模の洪水に対し、宅地部での床上浸水被害を防止することを目標とする。

(2) 河川整備の実施に関する事項

1) 外水対策

①河川改修

[三念沢]

場所：浅川合流点から約 0.68km、長野市豊野町豊野地区

河川整備の種類：築堤、護岸工、河道掘削等

[駒沢川]

場所：浅川合流点より 0.3km 上流から約 1.6km、長野市上駒沢地区～徳間地区

河川整備の種類：築堤、護岸工、河道掘削等

[新田川]

場所：浅川合流点より 0.03km 上流から約 1.08km、上駒沢地区～徳間地区

河川整備の種類：築堤、護岸工、河道掘削等

②浅川ダム

場所：千曲川合流点より上流約 14km、長野市一ノ瀬地区

河川整備の種類：流水型ダム

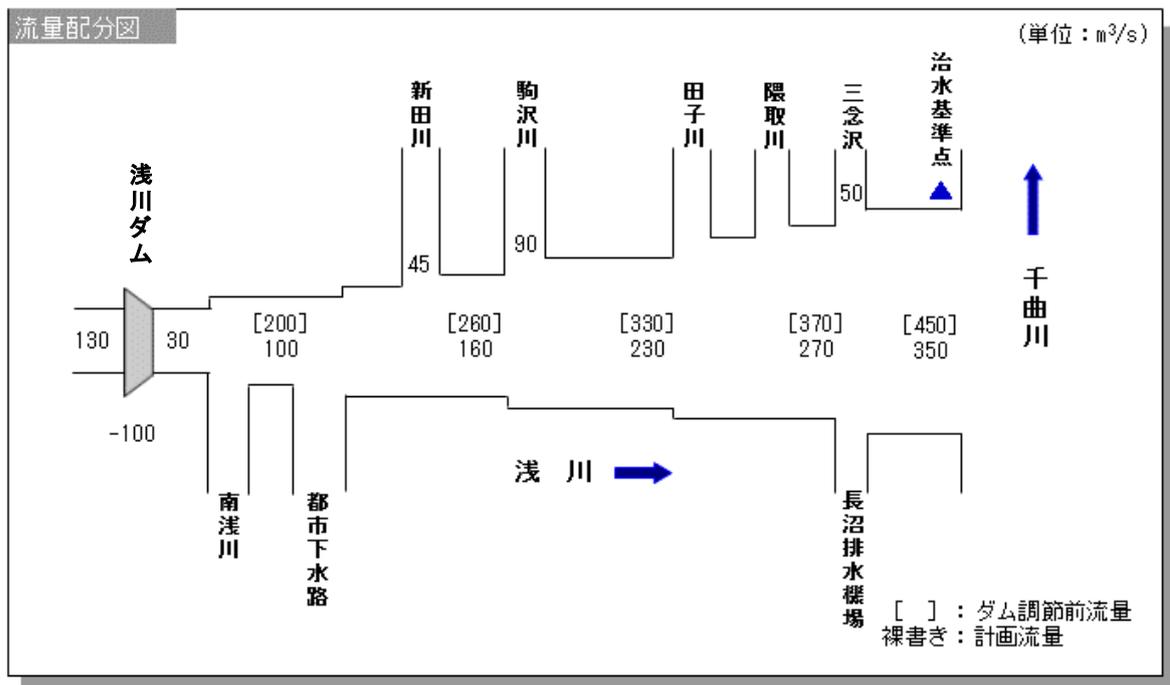


図 3 浅川の流量配分図

2) 内水対策

[浅川]

場所：千曲川合流点直上流

河川整備の種類：排水機場整備

